

# 人権教育指導資料集

人権教育を進めるために

長野県教育委員会

## はじめに

全世界規模での人権教育の推進を徹底させるために、国連総会で決議された「人権教育のための世界計画」が2005年から開始されました。現在、第4フェーズ（2020年～）として「青少年のための人権教育」をテーマに掲げ、包括的で平和な社会を築くことを目的として、平等、人権及び非差別、包括、並びに多様性の尊重に関する教育及び研修に重点をおいています。また、持続可能な開発のための2030アジェンダ、特に持続可能な開発目標（SDGs）のターゲット4.7と足並みを揃えることとなっています。

文部科学省では、国内外の動向を受け、学校教育における人権教育推進のために、「人権教育・啓発に関する基本計画」に基づく調査研究組織として「人権教育の指導方法等に関する調査研究会議」を設置し、第一次から第三次にわたる〔とりまとめ〕を公表しています。第三次までの〔とりまとめ〕は、文部科学省が人権教育の指導方法等の在り方を具体的に示したものであるとともに、令和5年（2023年）には「〔第三次とりまとめ〕策定以降の補足資料」が示され、学校における人権教育の一層の充実が求められているところです。

長野県においては、平成22年（2010年）に、県が進める人権政策の基本的な考え方や方向性を示す「長野県人権政策推進基本方針」を策定し、それに伴い、長野県教育委員会では、平成23年（2011年）に、「人権教育・啓発に関する基本計画」、「人権教育の指導方法等の在り方について〔第三次とりまとめ〕」及び「長野県人権政策推進基本方針」の基本的方向をふまえ、「人権教育指導の手引」を改訂し、「人権教育推進プラン」としました。

そして、今回、平成24年（2012年）3月に発行した「人権教育指導資料集」の内容を、現在の人権教育をめぐる状況、教育課程を踏まえて一部修正し、作成し直しました。

自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることができる人権感覚と、人権を尊重する社会を築いていく意欲と実践力をもった児童生徒の育成を目指して、積極的な活用をお願いいたします。

令和6年（2024年）4月

長野県教育委員会

## ＜「生きる力」の育成と人権教育＞

学校教育においては「生きる力」を育む教育活動が進められている。平成20年1月の中央教育審議会答申では、現行学習指導要領が重視する「生きる力」の育成という概念が、社会の変化の中でますます重要になってきていること、改正教育基本法を踏まえた学習指導要領の改訂に際しても、「生きる力」という理念の共有が図られるべきこと等を指摘している。

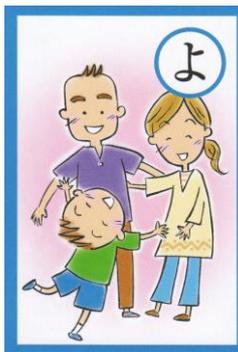
「生きる力」については、平成8年7月の中央審議会答申において、「自分で課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する資質や能力」、「自らを律しつつ、他人とともに協調し、他人を思いやる心や感動する心など、豊かな人間性」、「たくましく生きるための健康や体力」などからなる全人的な力として捉えられている。

すなわち、「生きる力」とは、変化の激しい社会において、他者と協調しつつ、自律的に社会生活を送るために必要な実践的な力であり、これらは、人権教育を通じて育まれる他者との共感やコミュニケーションに係る力、具体的な人権問題に直面してそれを解決しようとする行動力などとも、重なりを持つものといえる。人権教育については、このような「生きる力」を育む教育活動の基盤として、各教科、道徳、特別活動及び総合的な学習の時間や、教科外活動等のそれぞれの特質を踏まえつつ、教育活動全体を通じてこれを推進することが大切である。

(平成20年 人権教育の指導方法等の在り方について [第三次とりまとめ] より)

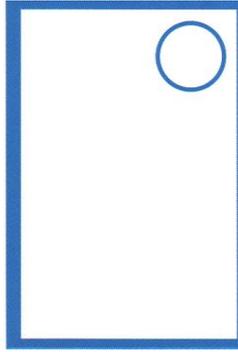
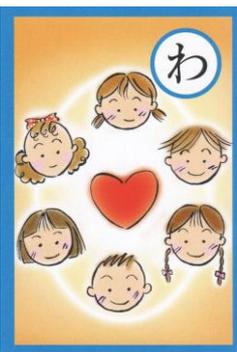
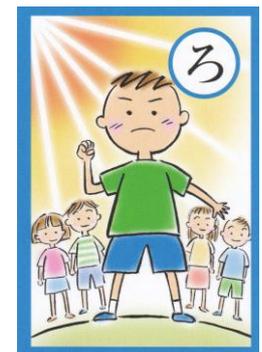
「人権かるた」 ～やってみるだけで、なんだか温かい心になりますよ～





「人権かるた」は、平成 20 年度に文部科学省の委託事業を受け、「人権教育推進のための調査研究委員会」が作成しました。多くの方の応募・協力により、素敵な標語が集まりました。(活用方法等は P41～P45)

絵札・読み札は長野県教育委員会ホームページからもダウンロードできます。  
<https://www.pref.nagano.lg.jp/kyoiku/kokoro/jinken/syakai/karuta.html>



# 大好きなおばあちゃん



飯綱町では、認知症への理解を深めるために「紙芝居 大好きなおばあちゃん」を作成しました。

「おばあちゃん」を中心に、家族と地域の人たちがつながっているお話です。



①ぼくのうちは、おばあちゃんとお父さん、お母さん、そして、ぼくと妹のまりちゃん、おばあちゃんの五人家族です。おばあちゃんはいつも元気で朝早くから畑に出て、野菜を作ったり、朝ごはんを作ったり、ぼくや妹のまりちゃんともよく遊んでくれたりします。おばあちゃんは、いつも、「おばあちゃんが作った野菜はおひさまの味がするから、そのままかぶりついて食べてみる」と言います。学校が休みの朝は、ぼくも一緒に畑に行って、トマトやきゅうりをとって、そのままかぶりついて食べるのが大好きでした。そんなぼくを、おばあちゃんはニコニコして見ていました。



②おばあちゃんの得意技はお手玉です。ぼくが小さいときから、おばあちゃんが自分で作ったお手玉でよく遊んでくれました。ぼくもマネをしてやってみるけれど、難しくなかなかできません。まりちゃんは、まだ二歳なので、お手玉をかじったり、放り投げたりするので、ぼくは「まりちゃん、ダメだよ」と怒ってばかりいました。そんな時でもおばあちゃんは、優しく笑ってまりちゃんを抱っこして、別のお手玉を持ってきて遊んでくれました。ぼくもまりちゃんもそんなおばあちゃんが大好きでした。

(認知症でも今まで身体で覚えてきたものは、初期の段階では容易にできます。)





③ある日、ぼくが学校から帰っておばあちゃんの部屋まで行くと、中から話し声が聞こえました。「おばあちゃん、ただいま！誰か来てるの？」と部屋の戸を開けると、お客さんはいませんでした。  
 「おばあちゃん」とぼくが声をかけると、おばあちゃんは「こうちゃん、お客さんにお茶を出してあげてちょうだい」と言いました。「お客さんはどこにいるの？」と聞くと、ぼくには何も言わずおばあちゃんは鏡に映っている自分に話しかけていました。  
 (おばあちゃん自身お客さんは来ていると思っではいるのですが、家族や周囲の反応から、自分自身何か変なことを言っではないかという戸惑いも同時にあります。)



④ぼくはびっくりして、お母さんのところへ走っていき、「お母さ〜ん、おばあちゃん何か変だよ！お客さんなんていないのに、お客さんにお茶を持ってきてって言うんだよ」と話すと、お母さんは「そう？わかったわよ。お母さんが持っていくからね」と答えました。  
 あれ？やっぱりどこかにお客さんがいるのかな？とぼくは不思議に思いました。  
 (お母さんにも戸惑いがありますが、でも状況を受け入れようとしている、そんな気持ちがあります。)



⑤そういえば、時々、おばあちゃん変なことするなあって思うことがあります。  
 「トイレに行ってくる」といって外へ出ちゃったり、ぼくをお父さんと間違えたり、ご飯を食べたばかりなのに「ご飯はまだ？」って何回も聞いたりました。  
 その度に、ぼくが、「ぼくはこういちだよ！こうすけはお父さんの名前だよ！」とか、「おばあちゃん、ご飯はもう食べたじゃない」って教えてあげても、時間がたつとまた同じことをしました。  
 (忘れるといっても、自分に近い人、いつも顔を合わせている大切な人は忘れる順は最後の方です。名前を忘れても、顔を覚えている。顔を忘れても「この人は大切な人だ」という感覚で覚えています。)



⑥ある日、おばあちゃんが畑に出たまま帰ってきませんでした。ぼくはあちこち用事についているのかなって思っていました。  
お母さんは近所を探しに行きましたが、見つかりませんでした。  
夜になって、お父さんが帰ってきて、近所のおじさんや消防の人たちと一緒に探しに行きました。



⑦夜中になっておばあちゃんは、お父さんと近所の人たちと一緒に帰ってきました。お父さんは、おばあちゃんを叱っていました。  
ぼくがおばあちゃんに「どこへ行っていったの？すごく心配していたんだよ」と言うと、おばあちゃんは「おじいちゃんの病院だよ」と言いました。おじいちゃんはもういないのに…。  
(本人は「叱られている」ということはわかって、その正確な意味はわからないので、隠れて行こうとして、部屋に閉じこもってしまったりと、違うかたちで周辺症状が出てきたりします。)



⑧次の日、お母さんはぼくに話してくれました。「おばあちゃんは脳の病気なんだって。認知症といって新しい記憶がなくなると時間や場所がわからなくなったり、物の使い方がわからなくなったり、人や自分のことがわからなくなったりしてしまう病気なんだって」  
ぼくは、なんだかこわくなりました。おばあちゃんが病気があったなんて。自分のこともわからなくなってしまうんだ。だから鏡の中の自分をお客さんだと思ってたんだ。  
ぼくは、おばあちゃんがどんどん違う人になっていくみたいで、とても不安になりました。でも、お母さんはぼくに優しく言いました。  
(親が子どもに大切な話をすることで、話の意味を十分に理解できなくても、その真剣な姿は、子どもの心にしっかりと伝わります。)



⑨「でもね、できなくなった事もわからなくなってしまう事もいろいろあるけれど、おばあちゃんのいい所は何も変わっていないんだよ」  
 「時々、昔に戻っておじいちゃんの病院に行ってしまうこともあるけどね。こういちはまだ難しくわからないかもしれないけれど、お母さんも初めの頃、おばあちゃんが病氣だとわからなくて、なんでそんな事するの？って、怒ったりひどいことを言っちゃったりしたの。そうすると、おばあちゃんも悲しそうな顔をしてね。だれだって怒られるのイヤだものね。おばあちゃんが病氣だっかってからいろいろ勉強してね、おばあちゃんに悪いことしたなって反省したの。一番つらいのはおばあちゃんだもんね。でも、周りの人たちが病氣を理解して見守っていたら大丈夫だからね」  
 ぼくはお母さんの話を聞いて、お母さんもおばあちゃんも大変だったんだなあと思いました。まだ病氣のことはよくわからないけれど、元気に「うんっ」てこたえました。



⑩おばあちゃんは、ちよっと前とは違うけど、お手玉はぼくよりずっと上手だし、おばあちゃんが作る野菜はとってもおいしい。  
 また、おばあちゃんの所にお客さんが来たら、ぼくがちゃんとお茶を出してあげよう。



⑪おばあちゃんが、一人で迷子にならないように近所のおじいちゃんやおばあちゃんにもよろしくお願いしますって言ってこよう。  
 ぼくの大好きなおばあちゃん。ずっとずっと元気でいてね。  
 (「ぼく」が考えたように、身近にいるおばあちゃんに対して、背伸びした援助ではなく、自分ができる範囲の援助を考えていくことが大切です。)



## 目 次

- ※ はじめに
- ※ 写真資料（人権かるた、紙芝居）

### I 人権教育推進の考え方

- 1 人権教育を推進するにあたってふまえたいこと ..... 2
- 2 人権教育の基本方針 ..... 3
- 3 人権教育推進の考え方 ..... 4
- 4 学校における人権教育の取組 ..... 6

### II 人権教育推進プラン<学校教育編>

- 1 教育活動全体を通じた人権教育の推進 ..... 8
- 2 人権教育を通じて育てたい力 ..... 10
- 3 人権教育を推進する基盤づくり<隠れたカリキュラムの視点> ..... 11
- 4 人権教育の具体的な進め方 ..... 13
- 5 全体計画の作成 ..... 14
- 6 年間指導計画の充実 ..... 17
- 7 人権教育の指導方法の工夫 ..... 22
- 8 効果的な学習教材の選定・開発 ..... 24
- 9 人権教育に視点をおいた学習指導案の作成 ..... 26
- 10 人権教育と生徒指導との連携 ..... 28
- 11 人権教育の充実と学力向上<効果のある学校を目指して> ..... 30
- 12 効果的な教職員研修の工夫 ..... 32
- \* 参考（人権教育と道徳教育） ..... 34

### III 人権教育の指導資料・実践事例

- 1 ワークショップ（自尊感情、アサーション、コミュニケーション能力を育てる）
  - ・さいころトークング ..... 36
  - ・すごろくトークング ..... 38
  - ・フォトランゲージ ..... 40
  - ・人権かるたを作ってみよう ..... 41
  - ・ウハウハ ..... 46
  - ・異文化への理解 ..... 49
- 2 子どもに関する事例
  - ・子どもの権利条約を学ぼう ..... 50
  - ・そんなこといってもなおせないよ ..... 55
  - ・道徳科の授業から～絵本「わたしのいもうと」を通して～ ..... 59
- 3 女性、高齢者、外国人、障がい者に関する事例
  - ・将来の働き方・生き方を考えよう ..... 61
  - ・高齢者との豊かな交流活動 ..... 64
  - ・外国人児童生徒等と共に学び合う ..... 69
  - ・障がいのある子どもを取り巻く学級集団づくり ..... 71

4	同和問題に関する事例	
	・同和問題の学習について	75
	・江戸時代の身分制度と人々の暮らし	78
	・村人さえ無事ならば	82
	・解体新書～医学の発展に貢献した人々～	84
	・渋染一揆	88
	・賤民制度廃止令（いわゆる解放令）によって	93
	・全国水平社	96
	・差別に負けない心（高橋くら子）	100
	・真新しい教科書	105
	・わたしのおかねなのに—識字学級のつづりかたから学ぶ—	108
	・今、光っていたい	113
5	アイヌの人々に関する事例	
	・アイヌの人々が大切にしてきたこと	118
6	ハンセン病元患者等に関する事例	
	・ハンセン病問題を学ぶ	120
7	インターネットによる人権侵害に関する事例	
	・情報を安全に活用しよう	122

#### IV 個別の人権課題に関する資料

◎	個別的人権課題に対する取組について	124
a	人権課題「女性」	125
	・男女の違いに配慮	
b	人権課題「子ども」	126
	・いじめの未然防止のために教職員ができること	
	・教育相談での配慮点	
	・子どもの権利条約Q&A	
	・児童虐待対応（チェックリスト等）	
c	人権課題「高齢者」	138
d	人権課題「障がい者」	139
	・特別な教育支援を必要とする児童生徒の指導	
e	人権課題「同和問題」	144
	・同和問題を考えるQ&A	
	・同和教育から人権教育へ	
f	人権課題「アイヌの人々」	147
g	人権課題「外国人」	148
h	人権課題「H I V感染者・ハンセン病元患者等」	149
i	人権課題「刑を終えて出所した人」	151
j	人権課題「犯罪被害者等」	152
k	人権課題「インターネットによる人権侵害」	153
	・事例をもとに、情報モラルを学ぶ	
l	人権課題「北朝鮮当局による拉致被害者等」	155
m	人権課題「その他」	157
	・性同一性障害Q&A	
	・色覚問題Q&A	

【参考資料】	*映像を使った人権教育学習	159
--------	---------------	-----

